

合同会社ネオリバーズ(サービス名:トケマッチ) 法人解散に伴う説明資料

資料作成:一般社団法人シェアリングエコノミー協会



目次

1. シェアリングエコノミーとは
2. 合同会社ネオリバーズ(サービス名:トケマッチ)のビジネスモデル
3. 今回の事件概要
4. 想定される被害状況

シェアリングエコノミーとは

- シェアリングエコノミーとは、インターネットを介して個人と個人・企業等との間でモノ・場所・技能などを売買・貸し借りする等の経済のモデルです。
- 狭義の代表的なビジネスモデルは、個人の車を個人に貸し出す、所有する家を民泊として貸し出す、個人のスキルを時間やプロジェクト単位でシェアする CtoC型のマッチングモデルです。
- モノ、スペース、スキル、時間などあらゆる資産を共有する「シェア」の考え方や消費スタイルが日に日に広がりを見せています。



トケマッチのビジネスモデル

- CtoBtoCの預託型レンタルビジネスです。
- 時計オーナーの持つ高級時計を「トケマッチ」に貸与し、時計オーナーには毎月定額の賃料をトケマッチから支払います。そして、「トケマッチ」が高級時計のレンタルサービスとして、利用者(時計ユーザー)に貸し出しを行います。
- 時計ユーザーとのマッチングや利用料回収、発送等を代行してもらえるので、時計オーナーは何もしなくても不労収入が手に入る形となっています。
- 時計オーナーへの賃料支払いは、時計の評価額に対して 10-20%/年と高利回りのため、投資目的でローンにて時計を購入し、トケマッチに預託している利用者也存在しています。



今回の事件概要

- 1月31日 合同会社ネオリバーズ(サービス名:トケマッチ)が自社HPにて解散を発表。
- 利用者から預託されていた時計の大部分が預託者に未返却の状態。
- 同社HPによると、6ヶ月以内に時計を返却すると記載があるが、以下の状況から、時計オーナーへ返却されないリスクが高い状況。
 - 会社及び代表と連絡が見つからない
 - 安い時計については一部返却がなされている模様
 - 解散直前にCM放映を行い、時計預託の募集を強化している
 - 同社に預託した時計と同シリアル番号の時計が2次流通している

想定される被害状況

- 2024/2/5 WBS(テレビ東京の報道番組・ワールドビジネスサテライト)での報道によると、総額 8億円超の被害が出ている現状です。また、リサイクルショップなどで 2次流通している状況(時計のシリアル番号等で確認)も報告されております。
- トケマッチ運営者が換金をしているのか、時計ユーザーが換金をしているのかなど詳細は不明ですが、時計オーナーが所有している時計が時計オーナーの関与なく二次流通しており、本件に関し、横領罪などの犯罪に該当する事案が発生している状況と思われます。
- 案件規模の大きさにも鑑み、被害届の受理や警察署間での情報共有など、柔軟にご対応いただけますと幸いです。